

3年生学年便り

平成 27 (2015)年 4 月 13 日

第 5 号

吹田市立第二中学校第三学年

「自ら考え、行動できる学年に。」

クラス写真撮影後、3年生になって初めての学年集会がありました。前時のクラス写真が遅くなってしまい、時間通りに集会が行われるか少し心配していましたが、そこはさすが3年生。写真撮影が終わったクラスから、3階体育館前に並んで待っていました。そして、時間通りに集会がスタート。

まずは、今年からこの学年に所属することになった先生3名の自己紹介からです。

亀田先生からは、最高学年として自分のことだけを考えるのではなく、周りのことを考え、そして行動できるみんなになって欲しい。ひとつ上のステージと一緒に目指そう。

10年後を見据えて、この一年、君たちと過ごしていきたいという話。藺牟田先生からは進路について。今年が入試制度、評価方法が大きく変わります。制度の変更を知ることでも大事だけれど、それと同じくらい、自分の納得できる進路選択を行うために、この一年いろいろな経験をし、たくさん考える作業をして欲しい。その中で、自分のものさしをしっかりと持ち、自分の判断で進路を決定できるようになって欲しいという話。仁部屋先生から「守破離」しゅはり（日本での茶道、武道、芸術等における師弟関係のあり方の一つ。まずは師匠に言われたこと、型を守る「守」。次に、自分に合った、より良いと思われる型をつくることにより既存の型を破る「破」。

最終的には師匠の型から自由になり、型から離れて自在になることができる「離」。)の話がありました。



次に、支援学級の許斐先生、梶谷先生、新屋先生からの話、保健室の吉川先生から保健室の使用ついでの話がありました。

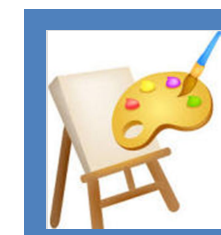
ここで、1分間の休憩 time。

みんな、1分間を最大限に有効に使っていましたね。



休憩後は、3年間を過ごす先生方からのお話です。荻野先生からは、授業を大切に、メリハリをつけた生活をしよう。服装、挨拶をきちりできるようになろう。平岡先生からは、今この当たり前に過ぎていっている生活が、もしかしたら急に変わるかもしれない。その急に変わったときに、心の支えになるものは、この学年で作った仲間との絆であったり思いであったりする。だから、今を大切に過ごして欲しい。

大曲先生からは、**去年の失敗を力に変えよう**。(ちなみに大曲先生は、突然の歌にもノリよく手拍子してくれるみんなの温かさがとても嬉しかったようです。)そして彦根先生からは、一人ひとり君たちは素敵な色を放っている。その色は、他の誰にも出せない世界にひとつだけの色。この吹田第二中学校の3年生として、一人ひとりの素敵な色で3年生というキャンバスに素敵な絵を描いて欲しい、誰かの色がきつすぎて誰かの色が消えてしまったりすることのないようになって欲しいと、それぞれの思いを伝えられました。



1年間のスタートに聞いたそれぞれの先生の思い。1時間という長い時間だったけれど、みんな真剣に耳を傾けていました。その姿に、頼もしさと期待を感じずにいられてませんでした。今日の話、自分の力に変えていくのは君たち自身です。

最高学年としてはずかしくない行動をとるために、また一人ひとりが悔いのない充実した1年間を過ごすために何が大切なのか。もう一度しっかり考えてみましょう。